



平成13年度
奨励賞
いいたてホーム



平成17年度
特別部門賞
笠石団地



平成18年度
奨励賞
飯樋小学校



福島県建築文化賞 復興賞を受賞

災害公営住宅飯野町団地

村としては
4度目の受賞

村の災害公営住宅「飯野町団地」が、平成29年度（第34回）福島県建築文化賞・復興賞を受賞しました。授賞式は、1月22日、杉妻会館（福島市）で行われ、村を代表して菅野村長が、表彰状や副賞の盾などを受け取りました。

今年には県内の自治体・企業・民間団体などから62点の応募があり、11点が受賞しました。審査委員長で東洋大学名誉教授の長澤悟さんが講評を述べ、飯野町団地については「広場を囲む住宅の配置が交流を生む。木造の集会施設は子どもの居場所として居心地がよい」と評価しました。村としては4回目の受賞（左を参照）となります。復興の励みともなる快挙です。

いいたてっ子、信州へ

～ 10回目の招待事業 ～



▲初日には、地元中学生318人による歓迎！

▲白と黒のコントラストが美しい松本城を散策

12月26日から28日まで、村の子どもたちが、長野県松本市からの招待を受け、2泊3日の日程で「信州まつもと子どもキャンプ」に参加しました。松本市からの招待は、震災後の平成23年度から今回で10回目となります。初回から全て参加している子どももいる交流事業で、これまでに338人の子どもたちと保護者が参加しています。

今回の子どもキャンプでは、松本市教育委員会、ボランティアスタッフの皆さんのご協力をいただきました。参加した子どもたちは、バスでの長時間移動の疲れも見せずに、元気なあいさつと笑顔を見せながら、松本市の中学生、大学生らとホッケーゲームなどで交流を楽しみました。また、江戸時代の城下町の風景を再現した縄手通りの情緒溢れる町並みを散策しました。

お別れ会では、同市より4月に再開する村内学校へ木製のほりの置物を寄贈いただき、村のさらなる復興を願う言葉が寄せられました。



イイタネちゃん

人気がでてきたネ♪

昨年夏に誕生した村公式キャラクター「イイタネちゃん」の人気が広がっています。

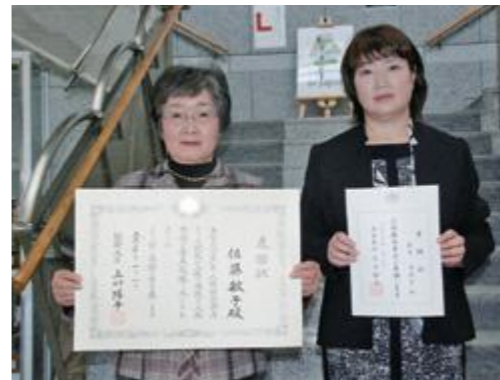
今年のお正月には、全国からイイタネちゃん宛に、年賀状が約200通届きました。「がんばってね」「道の駅に会いにいきます」など応援メッセージも寄せられています。

また、福島県出身のお笑いコンビたんぽぽ・白鳥久美子さんが歌う公式ソング「笑顔のタネ」が北海道、東京、広島幼稚園の発表会などで使用されています。

あなたの人権を大切に

1月11日、長年、人権擁護委員としてご尽力いただいた佐藤敏子さん（草野）へ法務大臣より感謝状が贈呈されました。佐藤さんは、2期6年、村行事などで人権の大切さについて啓蒙活動を行ってききました。佐藤さんは「委員だからこそ、貴重な経験を生かして生活していきたい」と活動を振り返りました。

また、新しい委員として藤井美奈子さん（上飯樋）が、1月1日付で委嘱されました。藤井さんは今後、研修や普及活動を通して、委員として活動を行っていきます。



▲感謝が贈られた佐藤さん(左)と藤井さん(右)